

平和・民主主義・暮らしをまもる緑区懇談会ニュース

《事務所》名古屋市長緑区鳴海町花井九三三 ラフォーレ TEL 六二五〇九五〇 FAX 六二五〇九五四

第八回緑区平民懇談会を開催

二〇〇九年度緑区平民懇談会を6月二十一日(日)に有松診療所の組合員ルームで開催し、二〇名が出席。今年度の総会は、出席した会員みんなが発言し活動の交流ができる総会にしました。

討論では、オバマ米大統領のプラハでの演説は大きな前進。このなかで北朝鮮問題をどう見るかが大きな問題。日本政府は、アメリカに「核の傘で守って欲しい」という核抑止論の立場で、核廃絶への道の足を引っ張っている。モリ再検討会議に向けた取り組み代表表を送る取り組みで緑区平民懇でもこの代表派遣をしてはどうか。また情勢が急激に想像を超えて変化する可能性があり、緑区平民懇の出番の情勢だ。緑区で派遣切りにあつた労働者が裁判を闘う、「支援する会」を立ち上げるので支援を。緑区平民懇がどういう組織か、分かるように宣伝すべき。平民懇は「懇談会」であり、3つの共同目標のなかの一つでも一致できるところから懇談し話し合つて共同の輪を広げていくところに「懇談会」としての意味がある。「公立保育園をなくさないで」の直接請求でクローズアップされた待機児童を解消する取組み、軽度発達障害の子どもと父母の会と連携してとりくむことなどの発言など、緑区平民懇としての役割が大きくなってきていることと、それに応えとりくみの大事さが共通して語られました。

参加者から「出席者のほとんどが発言できよかった」とか、「これでも時間が足りないくらいだ」などの感想も出されています。最後に役員を選出(下段に掲載)して閉会しました。

リレートーク42

「大人の責任」

新婦人緑支部

寺中 佳与子



「この少子化の時代に珍しいね」多くの人が目を点にしながら、必ずと言ってよいほど、私に向かっていうセリフだ。子育てを始めて23年、末っ子は5歳。小・中・高生のいる3男5女、8人の子の子育て現役ママです。

私が新婦人の活動に積極的にかかわるようになったきっかけは、「子育てがしづらくなつたな」と感じるようになったと同時に、悩んでいる若いママ達に「大丈夫だよ」と伝えてあげられる場所がほしいという要求からでした。子育てを始めた頃は、少ないながらも地域に市場や商店街があり、たくさんの地域の人と交流し、会話することができ、「(子育て)大変だね」「みんなも昔そうだった」「ガンバレ」と温かい励ましの言葉をかけてもらいました。それが、いつの頃からか、市場がスーパーに変わり、地域の人と会話する事が無くなり、漏れ聞こえてくるのは「どんな育て方しているんだ」「しつけがなってない」など非難の声。

気付かないうちに社会環境・地域環境が変っていたのです。

先日我が子たちの通う定時制高校で個人懇談会があり、そこでの話は我が子のことよりも多くの生徒たちの窮状でした。(苦笑) 昨年から経済不況に伴い授業料滞納問題が浮上しました。定時制高校は働きながら通うという性格上(現状は違いますが)生徒自信が働いて授業料を納めるという考えのある中、この不況の下、仕事(アルバイト)につくことができない生徒が増えていると…、奨学金を受け取るにも働いていることが前提にあるため、ある程度の収入と収入の見込みがなければ受けることができない。最近では年齢に関係なく高校生は雇わないところも増えているという。親の経済状況も厳しく頼ることができない生徒はまさに八方ふさがりだ。やっとのことで仕事に就けても長続きしない…どうして??

多くは人との関わりが苦手だという…そう、家庭と学校という限られた人の関わりの中で育ち、地域社会の中で人とかかわりながら育っていないのだ。

少し前に新婦人の行動中の会話で「仕事が無いなんて選んでるからだ」「学費は親の責任だ」と個々責任だといった人がいた。本当にそうだろうか……これって社会の大人の責任ではないのか?

「地域の人とつながり、地域の中で子育てを！」

新婦人の活動はとても大切で大きな意義のある活動だと思う。さあ、今日も地域のおばあちゃんとして、大人の責任を少しでも果たすため、元気に頑張ります!

代表世話人

- 室生 昇 (総合病院南生協病院名誉院長・医師)
- 上野 健一 (南民主商工会副会長)
- 小池まり子 (新日本婦人の会緑支部長)
- 小澤 武夫 (有松学区区政協力委員長)
- かとう典子 (日本共産党名古屋市長)
- 小池田 忠 (大高南学区区政協力委員長・市営森の里荘自治会長)
- 佐藤 和之 (医師・佐藤内科医院院長)
- 沢田 啓子 (緑区母親連絡会代表委員)
- 篠田 鉄郎 (歯科医師)
- 杉浦 豊 (弁護士)
- 杉江たき子 (新日本婦人の会愛知県本部代表委員)
- 中島 信行 (桶狭間学区区政協力委員)
- 服部 証次 (画家)
- 深谷勇次郎 (みどり音楽祭実行委員会事務局)
- 増田 勝 (作家・東部まちづくりの会代表世話人)
- 菱川 玲子 (民族舞踊研究かすりの会代表)
- 青木 陽子 (作家・日本民主主義文学会常任幹事)
- 大草 稔 (日本共産党緑区委員長)
- 西村 徹男 (年金者組合緑支部執行委員)
- 伊東 祐一 (気功教室教師)
- 上田 英二 (全国一般労組アクリル分会)
- 尾崎 純 (年金者組合緑支部書記次長)
- 朝日 勝子 (新日本婦人の会緑支部平和部)
- 清原 晶子 (南民主商工会婦人部員)
- 具志堅邦子 (陶芸作家)
- 斉藤 晏宏 (桃山診療所所長・医師)
- 杉江 栄一 (中京大学名誉教授)
- 垣内 尚生 (人形劇団むすび座代表)
- 土井 敏彦 (有松診療所所長・医師)
- 野原 敏雄 (中京大学名誉教授)
- 布目 久美子 (愛知私学父母懇談会常任幹事)
- 小林 信次 (元小学校教師)

NO.48号
09・7・8
合併号7・30